



通信

HP 学校だより
R7.12.22
NO.32
文責 伊藤美佳



「ありがとう」の伝え方

豊坂小学校では地域の方々に大変お世話になっています。子どもたちは、「ありがとう」の気持ちを伝えるために、感謝の会を開きました。

15日（月）には、「ナスおじさん感謝の会」を3年生と6年生が行いました。1時間目に6年生が開催した会は、ナス栽培の報告やナスをモチーフにしたゲームが行われました。その後、自分たちがナスを販売して得たお金で購入したお花をプレゼントしたり、手紙を渡したりする場面もありました。3年生は、学級ごとに考えたアイディアを形にしていました。ナス栽培の大切な点を伝え、折り紙で作ったナスを収穫してもらったり、学んだことをプレゼンテーションしたりしていました。また、自分たちで手紙や感謝状、折り紙の花束を用意して、プレゼントもお渡ししました。

19日（金）には、5年生が「お米の先生感謝の会」を行いました。自分たちが育てたもち米を使って餅つきを行い、それをいただきながら感謝の気持ちを伝えました。初めて杵と臼でもちをついたり、つきたての餅のおいしさを味わったり、なかなかできない経験をしました。その後、お米の大切さを劇にして披露したり、自分たちで作ったしめ縄や花束、手紙などをプレゼントしたりして、感謝の気持ちを伝えました。

どの学年も、栽培活動で一年お世話になった方に対する「ありがとう」の気持ちの伝え方を一生懸命考え、準備してこの日を迎えています。受け取る側の皆さんはとても恐縮してみえましたが、「ありがとう」をちゃんと伝えること、どう伝えるか考えること、そして、その気持ちを受け取ってもらえること、子どもたちのこんな経験のできる豊坂っ子は、本当に幸せだと思います。

校外学習で見学させていただけたところには、お手紙を書いて「ありがとう」を伝えています。12月1日に箕輪町の皆さんからいただいたリンゴのお礼は、代表委員会の子どもの発案で各学級1枚の寄せ書きをつくりました。（右の写真が表紙です）

「ありがとう」の気持ちをもって生き、「ありがとう」を受け取る、そんな豊坂っ子になってくれることを願います。



日々の成長を見取る

明日、長いと思っていた2学期が終了します。多くの行事があり、保護者、地域の皆様に子どもたちの輝く姿や一生懸命な姿を見ていただけたのではないのでしょうか。しかし、子どもたちの成長は、日々の積み重ねです。「1学期より歩くスピードが速くなったね」「大きな声であいさつしてくれるね」など、子どもたちが成長する場面は多く存在します。その変化を見取り、認めていくことが周囲の大人の仕事です。成果として分かりやすい「1位や金賞をとる」「100点をとる」などだけでなく、日々の変化を認めることで、子どもたちが一層輝く瞬間に立ち会える喜びを感じていたいものです。冬休みは、子どもたちがお手伝いしたり、多くの人と出会ったりするチャンスです。子どもたちの成長を見取り、認めて、より大きく成長させていただいた豊坂っ子と1月7日に会えることを楽しみにしています。